

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
魅力ある観光資源の開発と整備	利便性の高い観光施設の整備・維持管理	1	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業
		2	蓬山ログビレッジ指定管理事業
		3	栃木県温泉保護開発協会参画事業
		4	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業
		5	須花坂公園維持管理事業
		6	須花坂憩い館維持管理事業
		7	根古屋森林公園指定管理事業
		8	観光物産会館等指定管理事業
		9	観光施設公衆トイレ等維持管理事業
		10	観光施設改修事業
		11	温泉スタンド維持管理事業
		12	たぬまふるさと館維持管理事業
		13	さの秀郷太鼓保存育成事業
		14	あきやま学寮等指定管理事業

事務事業名		万葉自然公園かたくりの里維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10671	一般	7	1	4	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業				
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成2年度～	年度	根拠法令 条例等		佐野市万葉自然公園かたくりの里条例 佐野市万葉自然公園かたくりの里条例 施行規則	
						事業区分		市単独事業・国県補助事業		
								任意的事業・義務的事業		
								実施方法		
								事業分類		
								リーディングプロジェクト		
								市長マニフェスト		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託(管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等) ・業務委託先との連絡調整					左記概要と同様						
活動指標					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
施設の維持または修繕のため 現地に行く回数					回	25	30	28	25	25	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
観光客(施設の利用者)					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
観光客入込数					千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	
国内の総人口(人口推計10/1)					千人	126,706	126,443	126,167			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
かたくりの里来場者数の増加					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
施設来場者					人	26,405	28,247	33,008	29,500	30,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
案内看板維持管理改修整備 箇所数累計(年度計)					箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	2,575	2,829	2,952	3,437	2,872					
	事業費計(A)	千円	2,575	2,829	2,952	3,437	2,872					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			需用費	473	需用費	507	需用費	480	需用費	608	光熱水費	532
			役務費	74	役務費	70	火災保険料	19	火災保険料	20	修繕料	75
委託料			1,470	委託料	1,695	通信運搬費	51	通信運搬費	56	火災保険料	1,707	
使用料及び賃借料			558	使用料及び賃借料	557	委託料	1,845	委託料	2,195	通信運搬費	558	
正職員従事人数	人	2	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	360	360	360	360	360						
人件費計(B)	千円	1,374	1,376	1,373	1,373	1,373						
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,949	4,205	4,325	4,810	4,245						

事務事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	--------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市が昭和63年から、かたくり群生地を中心に用地を買収するなど周辺を整備し、平成2年「万葉自然公園かたくりの里」として開園したことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・開園時からの観光キャンペーンの実施や広告掲載、メディアへの情報提供により、「かたくり」の知名度は全国的なものになりつつある。一方、レジャーの多様化や類似施設の増加等により、来場者は減少している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	駐車場不足。施設の老朽化。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	修繕箇所の把握。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	かたくりのシーズンには多くの観光客が訪れるため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	「かたくり」は市の観光資源のなかでも、もっとも誘客力を持つと考えられる。施設の維持管理を市で行うのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	多くの観光客に不都合なく施設を利用してもらうことが本事業の目的であるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	カタクリがキツネノカミソリに侵食されつつあるため、カタクリの生態系の保全を従前にも増して強化する必要がある。シーズン以外の来場者が少ない。1年を通じて楽しめる施設として整備することで、来場者の増加が見込める。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	・経年により施設全体が老朽化している。今後事業費(修繕料)は更に必要になると予想される。 ・寄附により管理用地の面積が増加したため、機械除草実施のための委託料も増額となった。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	公共性が高く、広く市民が利用する施設のため、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	「かたくり」は市の花、市の指定天然記念物であり、廃止、事業終了は出来ない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
①施設全体の老朽化 ②かたくりシーズン以外の誘客。 ③カタクリの保全	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		蓬山ログビレッジ指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10755	一般	7	1	6	蓬山ログビレッジ指定管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成18年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則			任意的事業・義務的事業	
							実施方法		指定管理者		
							事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和 1年度実績(令和 1年度に行った主な活動内容)					
総合案内施設、コテージ、よもぎの湯、フィッシングセンター、蓬山レストラン等の維持管理、運営。 平成18年より指定管理者制度導入、作原地区むらづくり推進協議会を指定管理者としている。		コテージ運営による宿泊客の確保やよもぎの湯を中心とした日帰り客の誘致。蓬山レストランやフィッシングセンターによる誘客。春、秋に蓬山まつりを開催。遊具の適切な修繕工事を行った。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
各種契約事務		件	1	1	1	1	1
施設整備、修繕		回	6	7	3	6	6

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 蓬山ログビレッジ ② 市民 ③ 観光客全般	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	施設床面積	㎡	1,004	1,004	1,004	1,004	1,004
	市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450		
	市の入り込み客数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

観光客、宿泊客の誘致を図り、施設及び周辺の活性化及び、伝統文化などの周知を目的とする。また施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	利用者数	人	22,601	21,856	20,506	23,000	23,000
	施設利用料	千円	12,349	11,635	10,922	12,100	12,300

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)
	国際化対応看板設置個数累計(年度計)	箇所	2(0)	3(1)	5(2)	3(0)	3(0)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		2年度(目標)		3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	5,160		5,972		5,908		6,060		5,997	
	事業費計(A)	千円	5,160		5,972		5,908		6,060		5,997	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	1,259	修繕料	1,278	修繕料	1,183	修繕料	1,270	修繕料	1,200
			火災保険料	88	火災保険料	86	火災保険料	88	火災保険料	90	火災保険料	88
指定管理料			3,013	指定管理料	4,000	指定管理料	4,030	指定管理料	4,070	指定管理料	4,070	
土地借り上げ料			614	土地借り上げ料	608	土地借り上げ料	608	土地借り上げ料	629	土地借り上げ料	639	
庁用器具費			186									
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	360		360		360		360		360		
人件費計(B)	千円	1,374		1,376		1,373		1,373		1,373		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,534		7,348		7,281		7,433		7,370		

事務事業名	蓬山ログビレッジ指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年度、蓬山ログビレッジ建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度を導入し、作原地区むらづくり推進協議会が指定管理者となった。近年は類似施設の増加や施設の老朽化に伴い、利用者数が伸び悩んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	閑散期(冬季など)や平日などの運用方法(利用料金)について各種利用料金設定の改正について

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	指定管理者との打ち合わせ回数を増やし、改善点について協議した。
事業統合・連携	
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外からの観光誘客、地元雇用促進のため施設の管理を行なうもので、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	市営の宿泊、滞在、体験型観光の推進のため、指定管理者制度を導入している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	宿泊観光施設であるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	利用者数は伸び悩んでおり、閑散期における誘客には、他の事業との連携が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 あきやま学寮等指定管理事業、根古屋森林公園指定管理事業 上記2施設については、それぞれの地域でそれぞれ指定管理者制度を導入しているため、事業の統廃合はできないが、連携していくことは可能であると思われる。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	【事業費】指定管理者制度を導入しており、委託料、修繕料、土地借上料、保険料等であるため 【人件費】指定管理者との協議や指導等必要最低限であると考えられるため
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用者からの受益者負担は条例で定めた金額であり、施設の性質を考えると適正な金額であると考えられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 地域の振興策も含めた本市の観光施設の中心的存在であるため、事業の休止・廃止は不可能である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 類似事業の指定管理者との連携を図ることにより魅力度向上を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	インターネット予約等の運営上の工夫により利用者の増加を図る。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		栃木県温泉保護開発協会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10734	一般	7	1	4	栃木県温泉保護開発協会参画事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成12年度～	年度	根拠法令 条例等	事業区分		実施方法		直営
						事業区分		事業分類		参画事業
						事業区分		リーディングプロジェクト		該当
						事業区分		市長マニフェスト		該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和 1年度実績(令和 1年度に行った主な活動内容)						
栃木県温泉保護開発協会に会員として負担金を支出している。また協会主催の講習会への参加により、温泉専門分野の情報収集を行っている。  * 栃木県温泉保護開発協会は、温泉の適正な保護及び開発並びに効率的な利用を促進し、温泉事業の発展と公共の福祉に寄与することを目的として設立された団体である。		(市の活動)同協会への負担金の支出、講習会、会議(各年1回)への参加。 ・負担金7千円 (栃木県温泉保護開発協会の活動)温泉講習会の開催や栃木の温泉PR冊子の発行、その他情報提供等を実施。						
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
温泉講習会の受講		回	1	0	0	1	1	
PR冊子への照会記事掲載		回	1	1	1	1	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
温泉設置者		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(参加対象団体) 栃木県温泉保護開発協会		栃木県温泉保護開発協会会員数	人	51	51	49	49	49
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
安全な温泉利用の促進と適正な温泉保護による温泉利用者の増加		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
佐野市温泉スタンド利用量		t	2,676	1,874	1,600	2,000	2,000	
温泉スタンド利用者数		人	1,323	953	1,313	1,000	1,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)		箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	7	7	7	7	7			
	事業費計(A)	千円	7	7	7	7	7			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	7	負担金	7	負担金	7	負担金	7
	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
のべ業務時間	時間	10	10	10	10	10				
人件費計(B)	千円	38	38	38	38	38				
トータルコスト(A)+(B)	千円	45	45	45	45	45				

事務事業名	栃木県温泉保護開発協会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	-----------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成12年に、旧田沼町で温泉スタンドを設置したため協会に参加した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特になし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	特になし。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	市有の温泉であり、温泉の設置者が連携することは政策体系と結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	市有の温泉であるため利用者に安全な温泉を供給するには、市が実施することが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	温泉の安全な管理運営を目的としており、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	現状を維持し、安全性を損なわないよう運営している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	現在、会議等への参画のみである。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	温泉管理、施策の実施は設置者負担が適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
市有の源泉が枯渇して、新たに掘削する計画がなくなったとき。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		道の駅どまんなかためま指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10674	一般	7	1	4	道の駅どまんなかためま指定管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成20年度～	年度	根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事业		任意的事業		
	佐野市道の駅どまんなかためま条例 佐野市道の駅どまんなかためま条例施行規則						実施方法		指定管理者		
							事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
道の駅として、道路利用者への情報、休憩施設の提供及び情報発信、地域間の交流及び市の産業振興を図る。 道の駅どまんなかためまの維持管理・運営を、(株)どまんなかためまを指定管理者として実施する。		指定管理者(株)どまんなかためまにより、道の駅の運営管理を実施。 道の駅を利用する観光客に本市の観光情報を周知し、市内への回遊を図る。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
契約事務等		件	1	1	1	1	1
広報紙等掲載、広報活動		回	4	4	326	330	330

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民、来場者全般(観光客含む)		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		国内の総人口(人口推計10/1)	千人	126,706	126,443	126,167		
		市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

道の駅利用者へのサービス向上、情報提供を行う。また、トイレなどの施設を整備し利用者に提供する。その他農産物直売やレストラン運営などを行い、来場者の利用促進を向上させ、利用者の増加を図る。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		来場者数	千人	2,145	2,171	2,109	2,150	2,150
		売上額	百万円	1,701	1,807	1,827	1,715	1,715

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、本市を訪れ、宿泊してもらおう。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	247		47		49		90		147	
	事業費計(A)	千円	247		47		49		90		147	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	200	火災保険料	47	火災保険料	49	修繕料	40	修繕料	100
			火災保険料	47				火災保険料	50	火災保険料	49	
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	360		360		360		360		360		
人件費計(B)	千円	1,374		1,376		1,373		1,373		1,373		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,621		1,423		1,422		1,463		1,520		

事務事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	-------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成11年度に旧田沼町が「日本列島の中心 どまんなかたぬま」を宣言したことにより協議会に加盟した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度導入、(株)どまんなかたぬまを指定管理者とした。気候変動や社会経済情勢の変化に伴い、近年発生する災害も複雑多様化の一途をたどるなか、国土交通省では道の駅の防災拠点化に取り組んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	②のような情勢に伴い、危機管理課では道の駅どまんなかたぬまを地域防災計画上の避難場所に位置付けたい考えがある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象除外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外からの観光誘客、情報提供、施設の管理など、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	施設の維持管理により、地域の経済、産業、観光などの発展を目的に市が建設した施設であり、市が関与する事業として妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、地域産業の発展及び観光・交通情報の提供による来場者サービス向上を目的としており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	国道沿いでないにも拘らず利用者で常に一杯である。近くに道の駅みかもや道の駅思川ができたが、北関道佐野田沼IC開通等により増加傾向にあった利用者も一定数で推移しているが、管理者の戦略により成果向上の余地があると思われる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	共に地場産品の展示販売を行っている施設であるが、設置の目的、設置経緯、対象、経営主体が異なっているため、統合は不可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	指定管理者制度導入により、指定管理料は0円で運営しているため。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用料などは適正である。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	在多くの来場者があり、リピータも数多く存在する。廃止などは現在の順調な状況からは不要。		
総合 評価				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 会議への出席を増やし、協議会の活動を活性化させる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		須花坂公園維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり						担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰		
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	10757	一般	7	1	6	須花坂公園維持管理事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成6年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則		実施方法	一部委託				
							事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)						
須花坂公園および周辺の遊歩道の維持管理を下彦間むらづくり推進協議会への委託により行う。 また、農産物などの運営も行っている。					須花坂公園及び周辺の遊歩道及び公衆トイレの維持管理を行う。						
活動指標					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
観光施設内行為許可及び施設使用料收受					件	2	2	2	2	2	
施設管理(修繕、契約等)					件	3	3	3	3	3	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
① 須花坂公園 ② 施設運営団体					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
敷地面積					m <sup>2</sup>	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	
建築面積					m <sup>2</sup>	243	243	243	243	243	
運営団体数					団体	1	1	1	1	1	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
須花坂公園の良好な運営による来場者の増加 農産物などの売上増加					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
修繕件数					件	0	0	0	0	0	
売上額					千円	22,510	22,047	21,510	21,000	21,000	
来場者数					人	28,472	27,613	24,879	25,000	27,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)					箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	625	646	646	646	646	646	646	646	646	
	一般財源	千円	348	321	323	323	373	373	373	384	384	
	事業費計(A)	千円	973	967	969	969	1,019	1,019	1,019	1,030	1,030	
	事業費の内訳	千円	光熱水費	14	13	13	13	14	14	15		
			火災保険料	3	20	21	21	11	12			
			管理委託料	151	151	152	152	21	21			
			清掃委託料	40	40	40	40	154	155			
土地借上料			765	743	743	743	40	41				
							776	786				
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2					
のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120	120					
人件費計(B)	千円	458	459	458	458	458	458					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,431	1,426	1,427	1,427	1,477	1,488					

事務事業名	須花坂公園維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	-------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年度、須花坂公園施設整備に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	売上額に大幅な変化は見られない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外からの観光誘客、地元雇用促進、施設の管理など、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	施設を維持管理することにより、地域経済、産業、観光などの発展を促すことは、市が関与する事業として妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、地域経済、産業、観光の発展、来場者サービス向上を目的としており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	一体管理している憩い館(レストラン)の集客力の影響により、特に土日には十分な来客が確保できている。これ以上成果を向上させることは難しいと考える。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	須花坂公園憩い館は、公園内に位置しており、一体管理が可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 須花坂公園事業は、地元に着着して行っている事業であり、休止・廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		須花坂憩い館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課		
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり						組織	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	10758	一般	7	1	6	須花坂憩い館維持管理事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成6年度～ 年度			根拠法令等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則						
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
							任意的事業・義務的事業	任意的事業					
							実施方法	一部委託					
							事業分類	施設維持管理事業(市主体)					
							リーディングプロジェクト	該当					
							市長市政公約	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)				令和 1年度実績(令和 1年度に行った主な活動内容)						
須花坂公園憩い館(そばレストラン)の管理運営を下彦間むらづくり推進協議会そば部会への委託により行っている。				須花坂公園憩い館の適切な維持管理を行う。						
				活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
				観光施設内行為許可及び施設使用料收受	件	1	1	1	1	1
				施設管理(修繕、契約等)	件	2	2	2	2	2
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 須花坂公園憩い館 ② 施設使用者				対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
				建築面積	m <sup>2</sup>	135	135	135	135	135
				施設使用団体数	団体	1	1	1	1	1
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 「憩い館」の良好な状態での維持管理 ② 売上増加 ③ 来客者の増加				成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
				修繕件数	件	1	1	1	0	0
				売上額	千円	16,093	15,770	15,611	15,000	15,000
				来場者数	人	21,480	20,220	18,311	20,000	20,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。				上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
				案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)				
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	297	278	311	284	280					
	一般財源	千円			109	137						
	事業費計(A)	千円	297	278	420	421	280					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			修繕料	50	修繕料	48	修繕料	49	消耗品費	12	修繕料	48
			火災保険料	17	管理委託料	199	管理委託料	199	修繕料	150	管理委託料	200
管理委託料			199	保守委託料	31	保守委託料	31	管理委託料	227	保守委託料	32	
保守委託料			31			検査委託料	140	保守委託料	32			
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	120	120	120	120	120						
人件費計(B)	千円	458	459	458	458	458						
トータルコスト(A)+(B)	千円	755	737	878	879	738						

事務事業名	須花坂憩い館維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	--------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年度、施設建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	来場者数、売上額に大きな変化はない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設の老朽化に伴う修繕要望が増えてきた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	施設使用料について、類似施設と異なる部分もあり、検討が必要である。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内外からの観光誘客、地元雇用促進、施設の管理など、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	施設を維持管理することにより、地域経済、産業、観光などの発展を促すことは、市が関与する事業として妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、地域経済、産業、観光の発展、来場者サービス向上を目的としており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	十分成果は出ている。これ以上の向上を求めるのであれば運営形態等を変えないと難しい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 須花坂公園維持管理事業 須花坂公園憩い館は、公園内に位置しており、一体管理が可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	光熱水費、簡易な修繕等の費用は、むらづくり団体が実費負担している状況下のため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	須花坂公園憩い館維持管理事業は、地元に着して行っている事業であり、休止・廃止はできない。		
総合 評価				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
受益者負担の適正化  * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 施設使用料について、類似施設と異なる部分もあり、検討が必要である。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。  <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		根古屋森林公園指定管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰		
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10609	一般	7	1	6	根古屋森林公園指定管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成18年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則			任意の事業・義務の事業	任意の事業
							実施方法		指定管理者		
							事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)					
根古屋森林公園の総合案内施設、キャンプ場、コテージ、根古屋亭、貸農園、飛駒和紙会館等の維持管理・運営を指定管理者に適切に実施させる。市は維持管理・管理運営状況等を把握し、指導を行う。		施設の利用促進と宿泊客の確保。貸農園の利用促進。和紙会館での伝統文化の周知など。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
各種契約		件	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

設備	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	公園内施設	個	6	6	6	6	6
	設備点検回数	回	4	4	4	4	4

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	施設利用者数	人	2,262	2,477	2,595	2,550	2,600
	施設利用額	千円	5,426	5,507	5,801	5,600	5,650

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	12,578		12,658		13,259		13,148		13,123	
	事業費計(A)	千円	12,578		12,658		13,259		13,148		13,123	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	696	修繕料	799	修繕料	1,192	修繕料	880	修繕料	800
			火災保険料	93	火災保険料	96	火災保険料	111	火災保険料	114	火災保険料	111
指定管理料			10,723	指定管理料	10,718	指定管理料	10,817	指定管理料	10,916	指定管理料	10,916	
使用料及び賃借料			1,066	使用料及び賃借料	1,035	使用料及び賃借料	1,140	使用料及び賃借料	1,237	使用料及び賃借料	1,296	
			公課費	10								
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	240		240		240		240		240		
人件費計(B)	千円	916		917		916		916		916		
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,494		13,575		14,175		14,064		14,039		

事務事業名	根古屋森林公園指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成3年度、根古屋森林公園建設に伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度導入を導入し、みかも森林組合を指定管理者として指名している。利用者数は減少傾向にあり、コテージ等以外の、根古屋亭(そばレストラン)和紙会館の利用者も伸びていない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設や備品の老朽化が進んでいる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	冬季の閑散期には、宿泊料を半額とした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	根古屋森林公園を適切に維持管理することは、魅了ある観光資源の整備につながるので結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	みかも森林組合が指定管理者として運営している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	対象・意図を見直す必要がある	理由・改善案	利用者の増加を図るためインターネット予約の導入を始め運営方法を見直す必要がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	魅力ある素材の見せ方改善や誘客イベントの実施により、成果の向上が考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 蓬山ログビレッジ指定管理事業・あきやま学寮等指定管理事業 各々の施設の特徴を際立たせると共に、連携した広報活動等により相互の利用者増加へと繋げることが可能。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	指定管理者料による。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	利用者に受益者負担を求めているが、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 施設が休止・廃止する状況になった時			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 運営方法の見直しや、誘客イベントの実施によるPR活動の拡大。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	観光ニーズに合った施設改修、イベントの実施。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光物産会館等指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					事業区分	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備						新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業	一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目	10751	一般	7	1	5	観光物産会館等指定管理事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市観光物産会館条例 佐野市観光物産会館条例施行規則	実施方法	指定管理者			
							事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)			
							リーディングプロジェクト	該当			
							市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館において、観光情報の提供や地場産品の展示販売の健全かつ運営効率向上を図るため、観光や物産の振興を特定目的とする佐野市観光協会を指名し、指定管理者として運営を委託する。	佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の管理運営の委託。						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	管理委託料	千円	4,727	2,000	2,020	2,040	2,040

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野市への観光客	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

観光客等に佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の存在を知ってもらい、佐野市の物産品を購入してもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	売上額	百万円	228	215	191	230	240
	来館者数	千人	417	394	347	405	410

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

本市の魅力を知ってもらい、宿泊してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市の観光客宿泊数	千人	45	61	62	63	64

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		5,000	2,222			2,243		2,315		2,315
	事業費計(A)	千円		5,000	2,222			2,243		2,315		2,315
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	51	火災保険料	33	修繕料	0	修繕料	50	修繕料	51
			火災保険料	33	指定管理料	2,000	火災保険料	34	火災保険料	35	火災保険料	35
指定管理料			4,727	土地借上料	189	指定管理料	2,020	指定管理料	2,040	指定管理料	2,040	
土地借上料			189			土地借上料	189	土地借上料	189	土地借上料	189	
人件	正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2	
費	のべ業務時間	時間	120		120		120		120		120	
	人件費計(B)	千円	458		459		458		458		458	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,458		2,681		2,701		2,773		2,773	

事務事業名	観光物産会館等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成6年中央公民館老朽化に伴い、観光客の入込の多い関東の三大師「佐野厄よけ大師」前の地の利を活かし、来訪する観光客への観光情報の提供や物産品の展示販売のため、公民館との複合施設として平成7年に設置された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成15年に佐野新都市地区に2大ショッピングモールができたことにより、本市における観光のあり方や誘客が大きく変化した。同年、観光物産会館も従来の委託方式から指定管理者の運営へ移行した。平成19年に指定管理者である佐野市観光協会が任意団体から中間法人へ、平成21年は中間法人から一般社団法人となった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野市の特徴を生かした観光施設として、一層の増強ないし維持が求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	季節により館内のレイアウトの変更を行い、季節感あふれる商品展開、また正月の混雑時にもお客様が快適に買い物ができる売り場づくりに努めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光客に佐野市の観光情報の提供や物産品の販売をすることは、佐野市のイメージアップに繋がりを、佐野市の活性化に繋がる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	指定管理者として一般社団法人佐野市観光協会に委ねている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本施設は佐野市への観光客を対象に、より佐野市を知ってもらうための施設なので、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	観光客が求める魅力ある地場産品の品数を増やすこと、観光客の目を引くような、店舗内のレイアウト変更等が必要。そのため、観光協会との密な連絡や観光協会への支援と指導を強化する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	共に地場産品の展示販売を行っている施設であるが、設置の目的、設置経緯、対象、経営主体が異なっているため、統合は不可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業費や人件費の削減は、来館者数や売上への減少に直結すると考える。抜本的な運営の見直し、または休館日の設置や営業時間の見直しによる効率的な運営が必要。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 佐野市の観光のPR、地場産品販売の中心的存在のため休止・廃止は非常に困難である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) お客様のニーズを捉えた商品展開やレイアウトの変更を継続的に実施する。また休館日や営業時間の変更を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光施設公衆トイレ等維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					事業区分	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備						新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業	一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
10717	一般	7	1	4	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	実施方法	一部委託			
							事業分類	施設維持管理事業(市主体)			
							リーディングプロジェクト	該当			
							市長市政公約	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)							
観光施設の公衆トイレである、かたくりの里トイレ・マンサクの花咲く道トイレ・唐沢山トイレ・須花坂公園トイレ・蓬萊山トイレ・宇津野洞窟駐車場トイレ・五丈の滝駐車場トイレ7施設の維持管理及び犬伏新町薬師堂の仮設トイレ設置。			かたくりの里トイレ・マンサクの花咲く道トイレ・唐沢山トイレ・須花坂公園トイレ・蓬萊山トイレ・宇津野洞窟駐車場トイレ・五丈の滝駐車場トイレ7施設の維持管理及び犬伏新町薬師堂の仮設トイレ設置。							
			活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
			清掃回数	回	300	300	300	300	300	
			施設巡回回数	回	24	24	24	24	24	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
観光資源(トイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等)			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
			トイレ設置箇所	箇所	7	8	8	8	8	
			駐車台数	台	90	90	90	90	90	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
観光地に訪れた人に不快感なくトイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等を利用してもらう。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
			苦情件数	件	0	0	1	0	0	
			観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
			案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度内計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)				
	国庫支出金	千円									
	県支出金	千円	135	135	135	135	135				
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,103	3,069	3,165	3,519	3,377				
	事業費計(A)	千円	3,238	3,204	3,300	3,654	3,512				
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
		消耗品費	66	消耗品費	131	消耗品費	102	消耗品費	132	消耗品費	133
		光熱水費	399	光熱水費	484	光熱水費	472	光熱水費	504	光熱水費	500
		修繕料	109	修繕料	294	修繕料	411	修繕料	420	修繕料	419
		手数料	200	手数料	223	手数料	126	手数料	262	手数料	240
		火災保険料	9	火災保険料	9	火災保険料	9	火災保険料	10	火災保険料	9
		委託料	1,929	委託料	1,946	委託料	2,067	委託料	2,196	委託料	2,090
		使用料及び賃借料	73	使用料及び賃借料	118	使用料及び賃借料	113	使用料及び賃借料	139	使用料及び賃借料	121
		工事請負費	318								
		正職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
のべ業務時間	時間	360	400	400	400	400					
人件費計(B)	千円	1,374	1,528	1,526	1,526	1,526					
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,612	4,732	4,826	5,180	5,038					

事務事業名	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市民・観光客の利便性向上のためトイレ等の整備を行った。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国や県の観光政策の振興や外国人観光客の増加に伴い、観光施設に対する要望は高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光施設のトイレや駐車場等の維持管理は観光施策において重要な事業であるため。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	施設を市で設置・管理しているため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	観光客にトイレや駐車場等を不快感なく使用してもらうことが目的のため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現状において事業者や地域への委託業務が最善の方法であるため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限の清掃回数等のため、作業を減らすことにより経費削減は見込めるが、利便性の低下を招くことが予想されるため。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	広く一般に開放しているので、受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 駐車場やトイレ等がなくなると、市民や観光客が不便になるため、本事業を廃止することはできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		観光施設改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備					事業区分	新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業		一般事業	
短縮コード	会計	款	項	目	市単独事業・国県補助事業			市単独事業			
予算科目	10703	一般	7	1	4	観光施設改修事業					
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成19年度～	根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事业		任意的事業		
						実施方法		一部委託			
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)						
老朽化した観光施設の改修を適切に行うことで観光客の安全性及び利便性を図り、佐野市のイメージアップ及び観光誘客へと結びつける。		<ul style="list-style-type: none"> <li>根古屋森林公園モニュメント前駐車場改修工事</li> <li>蓬山ログビレッジ遊具解体工事</li> <li>ためまふるさと館エアコン改修工事</li> <li>蓬山ログビレッジ水上アスレチック揚水ポンプ配電改修</li> <li>唐沢山城跡南方道路災害応急復旧工事(その2)</li> <li>あきやま学寮研修棟ゆり空調設備改修工事</li> <li>唐沢山遊歩道階段改修工事</li> <li>東北自動車道佐野市カントリーサイン改修工事</li> <li>蓬山ログビレッジネットトンネルぐり設置工事</li> <li>あきやま学寮火災報知設備改修工事</li> <li>唐沢山城跡南方道路災害応急復旧工事</li> <li>根古屋森林公園火災報知設備設置工事</li> <li>唐沢山遊歩道看板・ベンチ改修工事</li> </ul>						
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
改修工事箇所数		箇所	11	23	13	10	10	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
観光施設		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		観光施設数	箇所	14	14	14	14	14
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
適切な施設改修により観光客の利便性を図り、佐野市のイメージアップと観光客の増加に結び付ける。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度内件数)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,369	13,640	14,696	10,278	13,000	
		事業費計(A)	千円	6,369	13,640	14,696	10,278	13,000	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		工事請負費	6,369	工事請負費	13,640	工事請負費	14,696	工事請負費	10,278
人件	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
費	のべ業務時間	時間	530	800	900	700	700		
	人件費計(B)	千円	2,022	3,057	3,434	2,671	2,671		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,391	16,697	18,130	12,949	15,671		

事務事業名	観光施設改修事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	年数の経過により修繕が必要であるが、一度に直すことができないので計画的な修繕、改修工事が必要である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国や県による観光政策の振興により、観光施設に対してより高い内容が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各施設管理者から、利用者に不便、不快な思いをさせないよう早急な修繕を求め意見が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	観光施設全体を管理する中で、施設改修を効率的・計画的に実施し、施設の安全・適正な管理に努めている。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光客の利便性向上及び観光客数増加を目的としており、既存の観光資源の整備なので政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	公共施設であるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	観光施設の改修は、佐野市のイメージアップや観光客数増加に繋がるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	予算措置されたもの以外にも、改修必要箇所が多数ある状況のため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 <small>あきやま学寮等指定管理事業、根古屋森林公園指定管理事業、蓬山ログビレッジ指定管理事業、温泉スタンド管理事業、須花坂公園維持管理事業、須花坂憩い館維持管理事業</small> 各事業で行う小規模修繕と大規模な改修に予算上振り分けている。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	経年劣化による施設の修繕は年々増加傾向にあり、適時改修を行なっていく必要があるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公共施設の維持管理であり、利用者に負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 施設を休止・廃止した時。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		温泉スタンド維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10602	一般	7	1	6	温泉スタンド維持管理事業				
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成13年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市温泉スタンド条例		任意的事業・義務的事業		任意的事業
							実施方法		一部委託	
							事業分類		施設維持管理事業(市主体)	
						リーディングプロジェクト		該当		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和 1年度実績(令和 1年度に行った主な活動内容)						
市民や道の駅利用者等の観光客に温泉の提供を行う。また、保守管理や水質検査を業務委託により実施し、施設の適正な管理を行う。					機器の保守管理、温泉の水質検査の実施 一般給湯口での一般客への温泉提供及び隣接する「道の駅どまんなかたぬま」の足湯での利用						
					活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					保守点検回数	回	12	12	20	24	24
					水質検査回数	回	1	1	1	1	1
					施設修繕回数	回	0	1	0	1	1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
① 市民					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
					市民の数(人口)	人	120,018	119,348	118,450		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
① 市民や観光客に温泉を供給する					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
					温泉利用量	t	2,676	1,874	1,600	2,000	2,000
					温泉スタンド利用者数	人	1,323	953	1,313	1,000	1,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
					案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,455		1,538		1,464		2,063		1,745	
	事業費計(A)	千円	1,455		1,538		1,464		2,063		1,745	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			光熱水費	501	光熱水費	498	光熱水費	482	需用費	802	光熱水費	644
			火災保険料	4	手数料	11	手数料	11	役務費	16	手数料	12
保守委託料			950	火災保険料	4	火災保険料	4	委託料	1,243	火災保険料	4	
			保守委託料	1,026	保守委託料	968			保守委託料	1,085		
正規職員従事人数	人	3		3		3		3		3		
のべ業務時間	時間	360		360		360		360		360		
人件費計(B)	千円	1,374		1,376		1,373		1,373		1,373		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,829		2,914		2,837		3,436		3,118		

事務事業名		たぬまふるさと館維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10492	一般	7	1	1	たぬまふるさと館維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成20年度～平成 年度			根拠法令等	佐野市たぬまふるさと館条例 佐野市たぬまふるさと館条例施行規則				
	実施方法						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業分類						施設維持管理事業(市主体)		施設維持管理事業(市主体)		
リーディングプロジェクト						市長マニフェスト		該当			
								該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
田沼地区を中心とした歴史、産業、芸術、文化、生涯学習の拠点施設として、地域産業の発展、教養文化の向上を図る。		観光施設の紹介、遺跡出土品・伝統産業品・特産物の展示。 企画展等市民の発表の場を提供する。 山城サミットで使用した甲冑や資料を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを実施。  ※10月12日(土)に台風19号接近に伴う休館措置をとったほか、3月には新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、2階展示室の利用を中止した。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
各種契約事務		件	0	6	6	6	6
施設設備、修繕回数		回	1	1	2	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	市民数(人口)	人	120,018	119,348	118,450		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

市民の展示会開催等による文化的活動の促進と地域産業の周知。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	来館者数	人	16,910	13,829	11,746	12,500	12,500
	展示室利用団体	組	19	24	27	20	20

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	案内看板維持管理改修整備箇所数(累計)	箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	5,223		4,493		4,443		4,628		4,706	
	事業費計(A)	千円	5,223		4,493		4,443		4,628		4,706	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	180	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
			修繕料	150	光熱水費	1,754	光熱水費	1,868	光熱水費	1,806	光熱水費	1,790
			火災保険料	30	修繕料	76	修繕料	6	修繕料	150	修繕料	150
指定管理料			4,658	火災保険料	30	火災保険料	31	火災保険料	31	火災保険料	31	
土地借上料			385	通信運搬費	65	通信運搬費	67	通信運搬費	67	通信運搬費	66	
				委託料	2,201	委託料	2,107	委託料	2,198	委託料	2,284	
				土地借上料	367	土地借上料	365	土地借上料	375	土地借上料	385	
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	126		120		120		120		120		
人件費計(B)	千円	481		459		458		458		458		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,704		4,952		4,901		5,086		5,164		

事務事業名	ためまふるさと館維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成8年度、ためまふるさと館(田沼町商工会館併設)建設に伴い事業開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より指定管理者制度を導入し、佐野市あそ商工会を指定管理者として指定してきたが、平成30年度から市直営による管理へ移行した。 利用者数は平成27年度を境に減少に転じるとともに、展示室の利用についても減少傾向にある。 佐野市市有施設適正配置計画における施設評価はA(廃止・譲渡)と判定された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	地域物産展示コーナーのリニューアル、活用について改善が求められている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	観光誘客の推進を図るため、平成29年度に実施した山城サミットの資料等を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを継続的に実施したほか、トイレ、観光情報の発信や問い合わせ等のため観光客の利用がある。
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつくと見直しの余地がある	理由・改善案	施設の設置目的が「地域産業の発展及び教養文化の向上を図るため」とあるため、直接的に観光と結びつかない。運営内容を見直す必要がある。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	地域産業の発展及び教養文化の向上を目的に市が建設した施設であり、市が関与する事業として妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、地域産業の発展及び市民の文化活動の向上を目的としており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	管理や運営方法を見直すことにより成果向上が見込める。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	抜本的な運営方法の見直しにより事業費等の削減が見込める。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	観光客の増加による経済効果(経済波及効果)の受益者は全市民であるため。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	建物を共有する佐野市あそ商工会への譲渡が完了したとき			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
目的(対象・意図)再設定	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									
平成30年度から市直営とし当館を様々な見地から活用し、今後の館のあり方を模索する。																									

事務事業名		さの秀郷太鼓保存育成事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備					新規事業・継続事業		継続事業	
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					実施計画事業・一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	10720	一般	7	1	4	さの秀郷太鼓保存育成事業				
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	平成13年度～	年度	根拠法令 条例等	なし			
	任意の事業・義務の事業						任意の事業		任意の事業	
	実施方法						実施方法		直営	
リーディングプロジェクト						リーディングプロジェクト		施設維持管理事業(市主体)		
市長市政公約						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
太鼓の維持管理や、さの秀郷太鼓保存会の活動支援を行う。  ※平成21年度まではさの秀郷太鼓保存育成実行委員会に交付金を支出し、実行委員会の保存育成活動を支援していた。			・太鼓の維持管理、運搬、修繕 ・さの秀郷太鼓保存会との連携(出演の連絡調整、出演補助、活動PR)						
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)		
保存会打合わせ		回	10	10	10	5	10		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
①さの秀郷太鼓 ②さの秀郷太鼓保存会 ③市民 ④観光客			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
			保存会会員数	人	25	20	15	15	15
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
さの秀郷太鼓の保存・育成をすることで、文化と観光の振興を図り、佐野のPR強化と観光誘客につなげる。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
			イベント出演回数	回	22	14	9	5	10
			観光客入込数	千人	8,883	8,741	8,575	9,700	10,000
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
			コンベンション事業数	事業	7	6	5	5	5
			ロケ誘致件数	件	27	25	21	15	55

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	84	84	220	310	310					
	事業費計(A)	千円	84	84	220	310	310					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			消耗品費	0	消耗品費	0	消耗品費	0	修繕料	200	修繕料	200
			修繕料	0	修繕料	0	修繕料	136	手数料	10	手数料	10
通信運搬費			0	通信運搬費	0	通信運搬費	0	損害保険料	100	損害保険料	100	
手数料			0	手数料	0	手数料	0					
損害保険料			84	損害保険料	84	損害保険料	84					
人件費	人	2	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	80	80	80	50	80						
人件費計(B)	千円	305	306	305	191	305						
トータルコスト(A)+(B)	千円	389	390	525	501	615						

事務事業名	さの秀郷太鼓保存育成事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	--------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧佐野市に太鼓団体がなかったため、新しい伝統文化を創造するために、さの秀郷太鼓創作事業が開始され、平成13年度から本事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	創作当時は市内の太鼓団体はさの秀郷太鼓のみであったが、旧田沼町・旧葛生町にはそれぞれ1団体ずつ自主活動していた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	さの秀郷太鼓を保存会のみのものでせず、広く市民に広めるべき。太鼓が市のものならば、保存会以外にも使わせて欲しい。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	備品としての減価償却が済んでいる太鼓について譲渡が可能か検討した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	佐野市に新たな伝統文化としてさの秀郷太鼓を創設し、これを保存・育成することによって市のイメージアップを図り、佐野市をPRしていくため。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある		理由・改善案	民間団体としての保存会の活動を独立させ、独自の活動ができるようにする。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	さの秀郷太鼓と保存会の保存・育成を図り、佐野市をPRしていくので、対象と意図はあっている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある		理由・改善案	保存会自らが活動にすることにより、自由な活動が図られ出演回数の増加が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある		理由・改善案	【事業費】太鼓修繕等に必要最低限の経費である。 【人件費】出演交渉の窓口や太鼓運搬が保存会で独自にできれば、職員の関与を縮小できる。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない		理由・改善案	市が新たな文化創造として立ち上げた保存会活動であるので、妥当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 太鼓は市の備品であり、保存・育成をしていかないと太鼓の修理・運搬車の手配などが難しくなり、存続が危ぶまれる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 現在は、太鼓が市の備品であり、運搬を市の観光PR車で行っているが、太鼓及び車両を保存会に譲渡できれば市の関与がなくなり、自由な活動が可能となる。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	市の備品を特定の団体に譲渡することが出来るかを研究する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		あきやま学寮等指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					事業区分	担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備						新規事業・継続事業	継続事業		
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理						実施計画事業・一般事業	一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
予算科目	10601	一般	7	1	6	あきやま学寮等指定管理事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行規則	実施方法	指定管理者			
							事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)			
							リーディングプロジェクト	該当			
							市長市政公約	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和 1 年度実績(令和 1 年度に行った主な活動内容)						
本市の観光施設である(あきやま学寮・古代生活体験村・ウッドランド森沢・体験館)の利用促進のため指定管理者と協定を結び、施設の維持管理・運営を委託する。 また、安全安心の施設利用のための施設の修繕等を行う。						指定管理者と協定を結び、施設の運営、維持管理を委託した。 施設の各種修繕を行い施設の機能保全を行った。						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
施設利用者数						人	9,511	6,894	5,165	9,250	9,500	
施設修繕料						千円	2,074	1,397	1,850	2,200	2,200	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
①観光客 ②観光施設 ③運営経費						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
施設利用者数						人	9,511	6,894	5,165	9,250	9,500	
施設利用等収入						千円	30,532	27,032	18,914	35,470	38,130	
施設運営経費						千円	37,617	39,963	33,009	45,120	47,780	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
施設利用者の増加 利用料収入の増加 運営経費の削減						成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
施設利用者数(対前年度)						人	△ 1,920	△ 2,617	△ 1,729	250	250	
施設利用料等収入(指定管理料除く)ー運営費						千円	△ 7,085	△ 12,931	△ 14,095	△ 9,650	△ 9,650	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
観光資源に対し必要に応じた整備を行い、安全な利用が可能になっている。						上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
案内看板維持管理改修整備箇所数累計(年度内計)						箇所	21(2)	26(5)	28(2)	28(1)	29(1)	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	13,124	13,628	12,727	13,090	13,090			
	事業費計(A)	千円	13,124	13,628	12,727	13,090	13,090			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	2,074	修繕料	1,397	消耗品費	11	消耗品費	12
			手数料	5	火災保険料	383	修繕料	1,850	修繕料	2,366
火災保険料			375	業務委託料	168	火災保険料	438	火災保険料	452	
指定管理料			9,545	指定管理料	9,543	指定管理料	9,600	指定管理料	9,650	
土地借上料			607	機械等借上料	667	機械等借上料	219	土地借上料	607	
庁用器具費			516	土地借上料	607	土地借上料	607	森林組合賦課金	3	
森林組合賦課金			3	工事請負費	864	森林組合賦課金	2			
森林組合賦課金	3									
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	360	360	360	360	360				
人件費計(B)	千円	1,374	1,376	1,373	1,373	1,373				
トータルコスト(A)+(B)	千円	14,498	15,004	14,100	14,463	14,463				

事務事業名	あきやま学寮等指定管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「山村都市交流環境総合整備モデル事業」を導入し、平成4年度から平成7年度までの4年間でウッドランド森沢・古代生活体験村・あきやま学寮の3施設を整備し、平成11年度に「山村振興等農林漁業特別対策事業」で体験館を整備した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開始時期に比べ、小中学校等の団体利用が増えているが、全体の利用者数はあまり変化がない。特に冬季の利用が極端に少ない状況で推移していた。東日本大震災直後は利用者の減少が見られたが、平成24年度以降徐々に回復しつつあったが、近年は減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設の老朽化の指摘。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	類似事業との連携を検討した。
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市営の宿泊、滞在、体験型観光の推進のための施設であり、適切な維持管理・整備により魅力を保つことは政策体系に合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	市営の宿泊、滞在、体験型観光の推進のため、指定管理者制度を導入している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	宿泊観光施設であるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	利用客数が減少傾向にあるため、指定管理者との共同により成果を図りたい。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 根古屋森林公園指定管理事業、蓬山ログビレッジ指定管理事業 上記2施設については、それぞれの地域で地域振興策として特色を持った施設運営を行っている。あきやま学寮等を含め3施設の特色をだしつつ、連携していくことは可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	5年の指定管理料のため。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	施設利用者からの受益者負担は条例で定めた金額であり、施設の性質を考えると適正な金額であるとする。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本市の中心となる観光施設であるため、また山村振興の要となる事業であるため休止・廃止はない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業統合・連携 : 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 類似事業の指定管理者との連携を進める。 指定管理者との連絡を密にし、サービス向上、経費削減に努める。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	指定管理者との連携。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					